

平成 30 年度 第 1 回 伊勢市障害者施策推進協議会 議事録

開催日時 平成 30 年 8 月 30 日 (木) 午後 7 時 00 分～
開催場所 御薊公民館 講堂
出席委員 宮崎 吉博会長、市川 知律副会長、杉田 宏委員、齋藤 茂委員、大杉 成喜委員
倉野 直紀委員、小林 えり子委員、畠中 節夫委員、川合 正良委員、鈴木 弘之委員
三宅 浩委員、溝井 力委員、金子 直由委員、伊豆 敏委員、倉本 啓二委員
中川 肇委員、山吉 秀樹委員、米澤 尚之委員、吉川 秀明委員、竹田 秀成委員
事務局 障がい福祉課長、障がい福祉係長、主査、職員 1 名
傍聴者 6 名

1 委嘱状交付

障がい福祉課長より、大杉委員、山吉委員、米澤委員、吉川委員へ委嘱状交付。

2 あいさつ

国では障がい者雇用率の水増し問題もあったが、地道に伊勢市の障がい者施策について議論していきたい。

3 第 4 期障害福祉計画・障害者計画実績について

●事務局より、第 4 期障害福祉計画・障害者計画の実績について説明

【各委員の主な意見】

○第 4 期伊勢市障害福祉計画 進行管理カードについて、日中活動系 就労継続支援 A 型の実績が伸びている要因はどのようなことが考えられるか

⇒平成 28 年度に新規事業所 2 事業所が立ち上がったことが要因のひとつだと考えられる。

○第 4 期障害福祉計画 PDCA 管理シートの実績の表記が分かりにくい

⇒分かりやすい表記となるよう工夫したい。

その後、協議会等意見について、事務局案のまま特段の修正なく、全会一致で承認。

4 部会報告

●自立支援部会、手話言語等コミュニケーション部会の各部長より報告を行う。また、自立支援部会については、「地域生活支援拠点の整備にかかる骨子等」が提案された

【各委員の主な意見】

(自立支援部会)

○地域生活支援拠点未整備が整備になるのは、2020 年度という認識でよいか

⇒2020 年度末までで考えている。

- 緊急対応の整備については具体的に進めてほしい
⇒今回承認されれば、今後、具体的に検討していく。
- 他市町の取り組みなどは参照したか
⇒いくつかの他市町の先進的な取り組みから、伊勢市の人口規模に合った取り組みを参照している。
- 伊勢市就労体験サポート事業の取り組みについて各委員で周知いただきたい

(手話言語等コミュニケーション部会)

- コミュニケーションボードの設置について、コンビニ側の意見を聞いているか
⇒コミュニケーションボードはあまり設置されていない状況であり、県内では三重県立図書館に設置されている程度。愛知県知立市は、全国に先駆けてコミュニケーションボードを配布した。その取り組みを参考にしていきたい。
- コミュニケーションボードの携帯版があればよいと思う
⇒参考にさせていただく。

その後、自立支援部会の提案について、全会一致で承認。

5 障がい者虐待対応報告

- 事務局より、平成 29 年度障がい者虐待対応件数及び平成 30 年度障がい者虐待防止啓発活動等計画の報告を行う
【各委員の主な意見】
 - 平成 30 年度障がい者虐待防止啓発活動等計画について、H30.10 月の研修は、昨年度から三重県主催から三重県社協主催となった。修正願いたい
⇒修正させていただく。

6 障がい者差別に関する相談件数報告

- 事務局より、平成 29 年度障がい者差別に関する相談件数の報告を行う
【各委員の主な意見】
 - 障がい者差別については、まだまだ声を上げることができない状況がある。職員に対して周知徹底願いたい

7 平成 30 年度優先調達方針について

- 事務局より、優先調達の平成 29 年度実績及び平成 30 年度調達方針の報告を行う
【各委員の主な意見】
 - 今後も継続して推進願いたい

8 その他

○事務局より、第6回障がい者サポーター研修会開催報告

9月1日に障がい者サポーター研修会を予定している。奥山佳恵さんを招き、講演会をする予定。各委員の所属でも周知をお願いしたい。

【各委員の主な意見】

○障がい者サポーターの中身、意義等について継続して周知願いたい